

平成25年度

(第3/3回)

(地域別研修)

アジア地域

公共事業における市民参加、合意形成および住民移転

実施要領

平成25年7月

独立行政法人国際協力機構 (JICA)

Japan International Cooperation Agency

目 次

1. 案件基本情報	1
2. 案件の背景および上位目標	2
3. 案件目標	2
4. 単元目標	2
5. 研修成果品	2
6. 研修員参加資格要件	3
7. 研修実施体制	4
8. 研修の評価	4
9. 研修付帯プログラム	5
10. 主な宿泊場所	5
11. その他	5

付属資料

付表 1 研修員関連情報

付表 2 平成 25 年度日程表 (案)

付表 3 年度別受入実績表

1. 案件基本情報

(1) 案件名

和文：(地域別研修) アジア地域 公共事業における市民参加、合意形成および住民移転

英文：Region Focused Training Program on “Public Participation, Consensus Building and Resettlement in Public Works Projects for Asian Countries”

(2) 受入期間 平成 25 年 7 月 23 日 (火) ～8 月 24 日 (土)

(3) 技術研修期間 平成 25 年 7 月 26 日 (金) ～8 月 23 日 (金)

(4) 受入人数、割当国

受入人数：12 名

割 当 国：バングラデシュ、カンボジア(2)、インドネシア、ラオス、
ネパール(2)、パキスタン、パプワニューギニア、スリランカ(2)、
東ティモール、アフガニスタン (国別研修枠)

(下線は受入国)

(5) 研修類型 課題解決促進型

(6) 使用言語 英語

2. 案件の背景および上位目標

(1) 背景

アジア各国では道路整備を中心とする公共事業が環境社会配慮の面で課題を抱えており、(わが国円借款事業を含め) 事業の円滑な実施に支障をきたしている。事業実施に伴う非自発的住民移転や生計手段の喪失の影響を受ける者に対しての十分な補償および支援が社会環境配慮の観点から適切なプロセスを経て行われる必要があり、情報公開プロセス、補償基準等整備のためのガイドラインの策定が求められている。

(2) 上位目標

対象国で、(道路工事等) 公共事業の計画段階において、住民移転や土地収用に関して環境社会配慮を踏まえた、住民参加および合意形成のためのシステム (ガイドラインや条例) が設立される。

3. 案件目標

中央レベルの道路事業等公共事業に携わる省庁において、公共事業の計画段階における市民参加または住民移転・土地収用に関する環境社会配慮の実施を踏まえた計画策定プロセスガイドラインの最終案が作成される（案件期間全体で達成する）。

4. 単元目標

- (1) 公共事業の計画プロセスへの市民参加手法を理解し、実践することができる。
- (2) 環境社会配慮に基づく非自発的住民移転、損失補償のあり方を理解し、自国の制度の問題点を分析できるようになる。
- (3) 道路建設等の公共事業計画段階において、市民参加ならびに非自発的住民移転、土地収用に関する環境社会配慮を基本とする仕組み、ガイドライン、条例に関する提案ができるようになる。

5. 研修成果品

(1) 本邦研修実施前

「初期報告書(Inception Report)」の作成

研修の主題にかかる参加者の所属組織の課題や対策等をまとめて本邦研修コース開始時に発表する。

(2) 本邦研修終了時

「中間報告書(Proposal Report)」の作成

研修で学んだ知識や技術等を基に計画（案）を作成し、コース終盤に発表する。

(3) 帰国後の事後活動

「最終報告書(Final Report)」の作成

研修員は帰国後、中間計画書に書かれた計画（案）について所属組織において共有または改善され、ガイドライン作成の提案がなされた旨の報告書（またはその進捗状況）を、帰国後3ヶ月以内に JICA 在外事務所を通じ、JICA 北海道（帯広）に提出する。

6. 研修員参加資格要件

(1) 募集要項記載条件

- ア. 公共事業に伴う市民参加、合意形成および住民移転の実施に携わる行政官
- イ. 当該分野において5年以上の実務経験がある者

(2) 各コース共通資格要件

- ア. 所定の手続きにより割当国政府から推薦されること
- イ. TOEFL CBT 72点(CBT200点/PBT533点)以上に相当する英語能力を有すること
- ウ. 大学卒業者もしくは同等の学力を有する者
- エ. 心身ともに健康であること
- オ. 軍に属していないこと

7. 研修実施体制

本案件は、コースリーダーの助言のもと、独立行政法人国際協力機構北海道国際センター（帯広）が研修コースを計画し、関係諸機関の協力により実施・運営する。技術研修期間中は、JICA登録の研修監理員を配置する。具体的業務は次のとおり。

(1) 北海道国際センター（帯広）

- ア. 実施計画書作成（案件目的、案件目標、研修期間など）
- イ. 募集要項および実施要領等の作成等
- ウ. 日程表の調整・作成
- エ. 講師、視察先等への連絡・確認
- オ. テキスト、資料等の手配等
- カ. 実施予算の執行管理
- キ. 関係者間の連絡調整
- ク. 通訳・翻訳（研修監理員による対応）
- ケ. 評価

8. 研修の評価

(1) 評価の目的

案件目標（2頁参照）に基づき、研修成果の測定・分析を通じてコース終了時に当初目標の達成度を確認する。また、今後の研修で改善すべき点をあげ、本案件の質的改善を図る。

(2) 評価の方法

ア. コースリーダー等による案件目標の達成度把握

イ. 研修員が提出する質問票による評価

ウ. JICA による評価

(3) 評価会

研修終了時に質問票の記載事項の確認を中心とした評価会を実施する。

(4) 反省会

研修員帰国後に、評価結果に基づき JICA 北海道（帯広）、コースリーダー、講師等が参加し、研修の目的・内容、プログラム構成、指導方法等について協議し、翌年度以降の改善に向けて対応方針を検討する。

9. 研修付帯プログラム

(1) ブリーフィング

来日直後に、北海道国際センター（帯広）で実施する。JICA 業務およびコース概要説明、研修員登録、旅券・査証の有効期間の確認、支給される諸手当の説明等のほか、日常生活を送る上での諸注意を行う。

(2) ジェネラルオリエンテーション

日本の政治・行政、経済、教育などを紹介する。

(3) 日本語講習

研修員の日常生活および国際交流のため、簡単な日常会話程度の語学力修得を目的として4.5時間の日本語講習を実施する。

付帯プログラム日程

日 程	内 容
7月24日(水)	ブリーフィング ジェネラルオリエンテーション 日本語研修(夜間)
7月25日(木)	ジェネラルオリエンテーション 日本語研修(夜間)
7月26日(金)	日本語講習(夜間)

10. 主な宿泊場所

(1) 東京国際センター (TIC)

所在地：〒151-0066 東京都渋谷区西原 2-49-5

Tel：(03) 3485-7051 Fax：(03) 3485-7904

(2) 北海道国際センター(帯広) (OBIC)

所在地：北海道帯広市西 20 条南 6 丁目 1-2

Tel：(0155)35-2001 Fax：(0155)35-2213

11. その他

(1) 修了証書

研修を修了した研修員に JICA から修了証書を授与する。

(2) 研修員の待遇

ア. 入国資格

技術研修を受けるために来日する者は研修査証を取得し、滞在中は日本国法規の適用を受ける。

イ. 滞在費

JICA 規程に基づき研修を受けるために必要な手当が支給される。

以上

平成25年度 JICA地域別「アジア地域 公共事業における市民参加、合意形成および住民移転」コース・日程(案)

宿泊先	月日	曜	時間	講義項目	講師		研修場所
					所	属	
帯広	7/23	火		来日			
	7/24	水	9:30-9:45	入館式	JICA		
			10:00-12:00	ブリーフィング/館内ツアー			
			13:00-16:00	ブリーフィング/オリエンテーション(日本の政治・行政機構)	JICA		
			18:00-19:30	日本語研修			
	7/25	木	9:30-11:30	オリエンテーション(日本の経済)			
			13:00-16:00	ブリーフィング/オリエンテーション(日本の教育)	JICA		
			18:00-19:30	日本語研修			
	7/26	金	10:00-12:00	コースオリエンテーション	JICA国際協力専門員		JICA北海道(帯広)
			13:00-17:00	レポート発表会準備(リハーサル)			JICA北海道(帯広)
			18:00-19:30	日本語研修			
	7/27	土	10:00-11:30	帯広市百年記念館 見学			
	7/28	日					
	7/29	月	9:30-12:00	PI(パブリック・インボルブメント)概論	北海道大学大学院工学研究院 准教授		JICA北海道(帯広)
13:00-15:30			日本の社会資本整備の歴史と現状				
7/30	火	9:15-9:45	帯広市長表敬				
		10:30-12:00	JICA環境社会配慮ガイドラインの概要	JICA国際協力専門員		JICA北海道(帯広)	
		13:00-17:00	インセプションレポート発表会	JICA国際協力専門員/北海道大学大学院工学研究院 / 日本海外コンサルタンツ/高野ランドスケーププランニング / 帯広開発建設部/帯広市		JICA北海道(帯広)	
		17:10-17:40	ティーパーティー				
7/31	水	9:00-12:00	環境社会配慮に基づく住民移転・補償の実務	日本海外コンサルタンツ(株)取締役 技術部部長		JICA北海道(帯広)	
		13:00-16:00					
8/1	木	9:00-12:00	事例を通じたケーススタディ	日本海外コンサルタンツ(株)取締役 技術部部長		JICA北海道(帯広)	
		13:30-14:45	十勝川相生中島地区川づくりと合意形成(講義)	北海道開発局帯広開発建設部治水課 課長		帯広開発建設部 十勝川相生中島地区	
		14:45-16:00	十勝川相生中島地区川づくりと合意形成(現場で説明)				
8/2	金	9:30-12:00	日本および北海道の道路整備	北海道開発局帯広開発建設部道路計画課 道路調整官		JICA北海道(帯広)	
		13:00-16:00	現場視察/(「足寄道路」「道の駅」)			足寄道路および道の 駅視察(高速)	
8/3	土		移動(帯広→東京)				
8/4	日						
東京	8/5	月	10:00-12:00	国が進める道路事業の構想段階における市民参加	国土交通省道路局企画課道路経済調査室係長		JICA東京
			13:00-16:00	構想段階における市民参加型道路計画プロセスガイドライン : 横浜環状北西線	国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所 計画課長		
	8/6	火	9:30-12:00	PI1:パブリック・インボルブメント手法(概論)/PI2:市民参加におけるコミュニケーションの理論/PI3:市民参加のファシリテーション技術/PI4:場のデザインとアウトリーチ手法/PI5:PI総合演習及び討論「PIプロセスやコミュニケーション手法」	(株)オリエンタルコンサルタンツ SC事業本部関東支店震災復興推進室担当次長 サブ GC事業本部 PMO 品質向上推進ユニット 課長 GC事業本部 都市地域開発部 都市地域計画グループ 課長		JICA東京
			13:00-16:00				
8/7	水	9:30-12:00					
		13:00-16:00					
8/8	木	AM	東北へ移動				
		PM	被災地域をバスより視察 盛岡 釜石道 釜石→山田町→陸前高田→(大船町)→(大船渡)→宮古				
8/9	金	AM	宮古市復興の取組み ~住民移転の取組みについて~(仮)	宮古市都市計画課課長			
		PM	田老地区被災市街地視察	岩手大学工学部社会環境工学科 教授			
8/10	土		移動(東北→札幌)				
8/11	日						
札幌	8/12	月	10:00-16:00	小樽運河保存運動/しりべしシステムを通じた地域協働の取り組み	北海道大学大学院工学研究院 准教授 北海道開発局小樽開発建設部道路計画課 道路調査官 道路計画専門員		小樽開発建設部
			9:00-11:40	住民参加と合意形成「千歳川流域」の事例	札幌開発建設部 千歳川河川事務所 副所長		北広島防災センター
8/13	火	12:00-13:00	道の駅「花ロードえにわ」(昼食)	自由見学及び昼食			
		13:30-14:30	漁川ダム管理所(見学)	講師調整中			
8/14	水	AM	フリーツツハイウェイ	講師調整中			
		15:00頃	①札幌市アイヌ文化交流センター プリカコタン 移動(札幌→帯広)	一般社団法人 北海道開発技術センター			
8/15	木	9:30-12:00	日本の公共用地の補償	北海道開発局帯広開発建設部用地課 補償審査官		JICA北海道(帯広)	
		13:00-15:30	日本の土地収用制度の概要				
8/16	金	9:30-12:00	帯広市の道路事業における用地買収、建物移転、生活再建措置	帯広市土木課用地係主任		JICA北海道(帯広)	
		13:00-14:00	視察先概要説明	帯広市土木課用地係		現地視察	
8/17	土						
8/18	日						
8/19	月	9:30-12:00	「市民参加及び合意形成」途上国の事例紹介	JICA国際協力専門員		JICA北海道(帯広)	
		13:00-15:30					
8/20	火	9:30-12:00	EIA, スコーピングリストの作成ワークショップ	JICA国際協力専門員		JICA北海道(帯広)	
		13:00-15:30					
8/21	水	9:30-12:00	市民参加・合意形成ワークショップ	高野ランドスケーププランニング代表取締役		JICA北海道(帯広)	
		13:00-16:00					
8/22	木	9:30-12:00	レポート作成個別指導(プレゼンテーション資料作成)	JICA国際協力専門員 北海道大学		JICA北海道(帯広)	
		13:00-15:30					
8/23	金	9:30-10:30	評価会	JICA		JICA北海道(帯広)	
		11:00-12:00	インテリムレポート発表会	JICA国際協力専門員/北海道大学大学院工学研究院 / 高野ランドスケーププランニング			
		13:00-16:00					
		16:00-17:30	閉講式ほか				
8/24	土		帰国				

年度別受入実績表

1. 応募／選定（受入）人数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	累計
応募数	18名	12名	18名	48名
受入数	15名	11名	12名	38名

2. 国別受入人数

○男性 ●女性

国名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	累計
カンボジア	○○	○○	○○	6名
バングラデシュ	○○		○	3名
ネパール	○○	○○	○○	6名
スリランカ	○●	○●	○○	6名
パキスタン		○○	○	3名
リベリア	○●			2名
パプアニューギニア	○			1名
ラオス	●	●	○	3名
ベトナム	○●●			3名
インドネシア		○	●	2名
東ティモール		○	○	2名
アフガニスタン			○	1名
合計	8カ国 15名	7カ国 11名	9カ国 12名	12カ国 38名



独立行政法人国際協力機構 北海道国際センター（帯広）
〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1番地2
TEL : 0155-35-1210 FAX : 0155-35-1250
ホームページ : www.jica.go.jp/obihiro/
メール : jicaobic@jica.go.jp